第 1 号議案
2022-23 シーズン事業報告

B1 昇格 3 年目のシーズンは、新型コロナ感染が下火にはなりつつも、収束には至らない中で 3 シーズン続けての壮行会（出陣式）を実施できず、残念なスタートとなったが、チームは新たな戦力となる選手を迎え、好調なスタートをした。
しかし、有力選手の負傷が相次ぎ、シーズン途中でも外国籍選手を補強するなど厳しい戦いが続いた。
最終的には、1 試合（アウェイ）をコロナ感染により中止となったが、チームは 29 勝 30 敗で、勝ち越しには至らなかったが、中地区（8 チーム中）3 位の成績でシーズンを終えた。
後援会では新型コロナウィルスの感染防止ため出陣式は中止せざるを得なかったが、新年会は 3 年ぶりに開催することができ、これまでに最多の 117 名の（選手、スタッフを含む）参加を得て後援会員の親睦を高めるための事業となった。
後援会の活動は、シーズン前からポスター張り（配布）活動、ホーム試合会場での運営に多くの会員がウォープルとして会場の準備、運営に携わった。

1．後援会組織の拡充等
会員拡大（増）への取り組みでは会としての計画的な取り組みはできず、会員や役員に個々による勧誘にとどまってしまったが、2023-24 シーズンに向けて長野市商工会を中心とした後援会員増を目　指した活動が進むこととなった。
4 つの専門委員会を設置しているが、まだ、それぞれの委員会の活動は進められていない。
支部活動では、長野市、上田市での夏祭りに多くの会員が参加し、選手とともに楽しむことができた。
また、各支部でのパブリックビューイングが開催された。
特に今シーズンは南信地区では松本山雅（J リーグ）の協力を得て飯田市で、更には豊丘村でも会員有志により開催することができた。

2．信州ブレイブウォリアーズを中心とした地域活動の推進とチーム支援
(1)物心にわたるチーム及び運営会社への支援
財政的な支援については、チケット購入、支援金により助成をしたが、会員の継続、新規加入を積極的に行うことができず、予算額には満たない結果

となってしまった。

人的な支援としては、ホームゲーム時のウォープルによる活動のほか、運営会社が制作したポスターの掲示、協力していただける事業者（社）等への配布を行った。

長野市、千曲市、坂城町の小中学、高校へのチラシ配布協力を行った。

⑵会員の親睦、チームとの交流を深めるためのイベントの開催

2023 年 2 月 18 日に 3 年ぶりに新年会を開催。

117 名の参加を得て盛大な会となった。

シーズン終了後のファイナルパーティー（運営会社主催）への会員の参加を配慮いただいた。

⑶チームの興行及び運営会社の各事業に対する支援活動

通常のホームゲームにおける運営への支援についてはウォープル（多くの会員が参加）として試合の運営に協力した。

ポスター掲示、配布活動を例年通り実施した。

⑷棚田での地域貢献事業

地域貢献事業の一つとして千曲市が行う姨捨棚田の保全を目的とした稲作事業に申請、5 月の田植えには約 10 名の会員の参加を得た。

もち米とうるち米を育て、収穫後には会員への進呈、会場での配布等を計画したい。

3. その他、信州ブレイブウォリアーズ発展のために必要な事業の推進

⑴　マグネット、シールの販売。

⑵　サポートショップのホームページ紹介。

⑶　「バスケの日」活動推進